

第42回全国障害者技能競技大会

<111> ホームページ 競技課題B

(1) 課題の概要

事前課題の作品に含まれる素材を活用し、競技時間内に新たな要件に従いウェブページを作成する。

(2) 競技時間

競技時間は270分とする（休憩時間除く。）。（4時間30分）途中休憩：1時間

・競技開始、終了は委員の指示に従う

・途中休憩時には、モニタ電源をOFFにする

(3) 作品提出方法

備え付けのUSBメモリーに保存する。

故障等のリスクを回避するために、USBメモリーに適宜保存することを怠らない。

(4) 使用機器

ハードウェア及びソフトウェアは事前に告知したとおりである。異なる場合は、競技開始前までに報告する。

(5) 注意事項

- ・与えられたパソコンにインストールされているソフトウェアは、自由に使用して良い。
- ・市販の参考図書は原則として1冊までの持ち込みを認める。全部または一部を点訳したものでも構わない。
- ・ノートやメモ紙の持ち込みは認めない。
- ・個人所有のUSBメモリー等記憶媒体の持ち込みは認めない。
- ・何らかの違反行為が認められた場合は、失格となる場合がある。
- ・競技中に万一機器が故障した場合は、競技委員の指示に従う。

(6) 新たな要件

競技者は競技時間内に以下課題に取り組むこと。

要件：郷土料理を紹介するホームページに以下要望が依頼されたことと想定。

2年ぶりに学生郷土料理コンテストのオンライン開催が決定。

学生郷土料理コンテストに関する開催告知ページを新たに設けることを依頼された。

- ・ スケジュール
 - 参加チーム募集 2022/10/31 締切
 - 出場チーム選考 2022/11/1 ~11/10
 - コンテスト出場チーム発表 2022/11/20
 - コンテスト開催 2023/3/3 13:00-15:00 オンライン開催
- ・ コンテストのテーマ
郷土料理の魅力を伝え、地域の食文化を育成
観光促進にもつなげたい
- ・ 応募条件
小学校、中学校、高校生3名で1チーム
小学校、中学校、高校生ごとに部門が異なる
1チームで応募できる郷土料理は1つ
- ・ 応募チーム選考
応募チームの中から競技委員会が各部門より5チーム選出
コンテスト出場チーム発表日以降にHP上に出場をチーム発表
- ・ コンテスト概要
オンライン開催
料理の様子を動画配信
審査員、閲覧者から投票を持って採点
- ・ コンテストの特典
優勝チーム賞金：5万円のお食事券、地域情報誌レシピ掲載、学校給食献立に採用
準優勝チーム賞金：1万円のお食事券、地域情報誌掲載
- ・ 部門別に前回の優勝出場チーム、郷土料理を掲載
- ・ 応募フォームには、最低限以下情報を設定する
 - チーム名
 - 代表者1名の連絡先（氏名、メールアドレス、TEL）
 - 作成予定の郷土料理
 - PRポイント
 - レシピ
 - 出来上がりの写真
- ・ コンテストに関わるお問い合わせフォームも設けたい
 - 問い合わせ者（氏名、メールアドレス、TEL）
 - 問い合わせ内容
- ・ 学生郷土料理コンテストに関する開催告知ページの目的
 - コンテスト開催告知
 - 出場チーム応募

課題1 ワイヤフレームデザインの制作

学生郷土料理オンラインコンテスト開催告知ページのワイヤフレームデザイン制作
(応募フォーム、お問合せフォームは除く)

要件に提示された内容、目的を理解し、閲覧者にとってわかりやすいレイアウト、
情報設計に配慮したワイヤフレームデザインを制作。

- ・ A4 用紙に描くか、
画像ソフト (AdobeXD, Figma, Photoshop)、PowerPoint、EXCEL を使用して提出でも可。
- ・ ワイヤフレームに記載すべき最低限の情報は次の通り。
レイアウト
ヘッダー、フッター、コンテンツエリアの記載内容 (情報設計)

課題2 ページ制作

ワイヤフレームデザインを元にページを制作。

文章、キャッチコピーなどページ制作として競技中に対応する。

- (1) 学生郷土オンラインコンテスト開催告知ページ
- (2) 応募フォーム (実際にフォームが動作しなくてよい)
- (3) コンテンストお問合せフォーム (実際にフォームが動作しなくてよい)

- ・ 学生郷土オンラインコンテスト開催告知ページは、事前課題で作成したホームページからわかりやすく案内、動線を検討した上で、リンクを設定すること。
- ・ レスポンシブデザインに対応すること。

(7) 全体的な要件

- ・ 要件に必要なデザインレイアウト、情報設計力 (基礎力)
- ・ 課題の最低限の仕様を満たし、HTML ソースは他人に見られることを前提にしている。(基礎力)
可能な限り HTML5 および CSS3 標準仕様に準拠する必要がある。
審査時には validator.w3.org による確認を予定。
- ・ 課題の仕様を満たす上で、適切な技術を用い活用している。(技術力)
- ・ 要件を適切に理解した上で競技課題を作成している。(提案力)
- ・ 障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている。(アクセシビリティ)
- ・ ホームページのインターフェースは人間工学的 (≒使いやすい) で明確である。(ユーザビリティ、ユーザ体験)
- ・ わかりやすいタイトル、文章など閲覧者につたわる文章構成。(ライティング)

以上